農業クラブって何？

高校には、体育祭や文化祭などの学校行事を企画・運営する『生徒会』があります。それと同様に農業科が設置されている学校には『農業クラブ』という組織が存在します。『農業クラブ』は、農業科の生徒達の自主的組織であり、科学性・社会性・指導性を身につけることを目的とした農業クラブ活動が実践されています。農業クラブには、日本全国で約９万人、岐阜県では約3000人の会員がいます。それぞれの学校において、特色ある活動が実践されているのです。

みのる稲穂に
富士と鳩
FFJシンボルマーク

農業クラブの具体的な活動

農業に関する知識や技能を習得し、科学性・社会性・指導性を身につけるための発表会や競技会が行われます。具体的には、農業鑑定競技会・意見発表会・プロジェクト発表会・フラワーアレンジメント競技会・平板測量競技会・家畜審査会があります。そして、学習の成果を競い合い高め合うための競技会・発表会がまず校内で開催されます。校内で優秀な成績を収めた人は、岐阜県内の農業科設置高校で行われる年次大会、つまり県大会に出場することができます。さらに、そこで優秀な成績を収めると東海大会、全国大会へとつながっていきます。全国大会は、農業科の生徒達にとっての甲子園なのです。今年の全国大会は、長崎県で開催されます。

交流活動

交流活動が多いことも、農業クラブ活動の特徴です。岐阜県や全国の農業クラブ員と共に、代議員会や幹部講習会などの機会を通じ、見交流や情報交換を実施しています。今年は、岐阜県連代議員会が５月３１日（火）に飛騨高山高校で行われました。

６月１８日（土）に直江子供会の皆さんと連光寺の花壇作りを実施しました。当日は、あいにくの雨でしたが、雨合羽を着用し、子供会の皆さんと農業クラブ役員が花壇苗の移植を行い、素敵な花壇ができました。子供会の皆さんの一生懸命に苗を植える姿が大変印象的でした。

発表会・競技会の記録

校内大会の結果

【意見発表会】

５月２６日（木）に意見発表会が実施されました。意見発表会は、クラブ員の身近な問題や将来の問題についての意見や抱負、その問題を解決するための実践をまとめ、聴衆の前で発表し、その内容や発表を審査する競技会です。今年は､｢命のアグリ・プロフェッショナルを目指して」というテーマで発表した生産科学科３年の小林功一朗さんが最優秀賞を受賞しました。

【農業鑑定競技会】

５月２０日（金）農業鑑定競技会が実施されました。農業鑑定競技は、農業専門科目の学習や農業クラブ活動で得た農業に関する知識・技術の成果を競い合う競技です。１問の解答時間は２０秒。目の前におかれた実物を見て、問題の解答を導き出します。今年の農業鑑定競技会は、区分『園芸』において環境科学科2年の菱田香織さん、区分『畜産』において生産科学科３年の栗田佳穂さん、区分『食品科学』において食品科学科3年の荒木一敬さん、区分『造園』において環境科学科3年の堀田剛輝さんが最優秀賞を受賞しました。

岐阜県連年次大会（県大会）

今年の年次大会において､大養生の活躍する姿が見られました。

○プロジェクト発表会は､日頃のプロジェクト活動（研究活動）の成果を 10 分の発表とスライドにまとめ、その研究成果や発表内容・方法について競う競技です｡今年の年次大会では､区分『文化・生活』において､｢大養 Bicom から Produce 地域特産品開発は私たちにおまかせ」というテーマで発表した食品科学科３年の大庭亜美さん、渡邉恭吾さん、柳瀬佑太さん、柳瀬真祐未さん、國枝杏梨沙さん、川合萌さん、伊藤駿さんが見事**最優秀賞**を受賞しました。東海ブロック大会で活躍も期待されます。

○意見発表会は、区分「環境」で生産科学科３年の小林功一朗さんが、区分「食料・生産」で環境科学科２年の竹中志津弥さんが**優秀賞**を受賞しました。

○家畜審査競技会(乳牛の部)では、生産科学科２年の岡崎大峻さんが**優秀賞**を受賞しました。

今後、家畜審査競技（肉牛の部)、農業鑑定競技会、フラワーアレンジメント競技会における年次大会での大養生の活躍が期待されます。